

琵琶湖・瀬田川の水質概況速報(平成 24 年度(2012 年度)第 4 四半期)

琵琶湖環境科学研究センターでは、水質汚濁防止法第 16 条の規定に基づき作成した公共用水域水質測定計画等に基づき、琵琶湖および瀬田川で採水、水質分析を実施しています。このたび、平成 24 年度第 4 四半期分について水質概況速報がまとまりましたので報告します。

なお、琵琶湖・瀬田川水質は、年間を通した解析により正式な評価を行うため、ここで公開する速報値が、後日、修正を加えられる可能性があることをご了承ください。

◎調査方法について

北湖 28 地点、南湖 19 地点、瀬田川 2 地点の計 49 地点において、国土通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所、(独)水資源機構および当センターで協力、分担し表層 0.5m での毎月の水質変動を調査しています。

また、琵琶湖の北湖深層部における水深別調査は、当センターでは今津長浜港を結ぶ線上のほぼ中央の水深約 90m 地点今津沖中央(通称「17B」)において、月 2 回実施しています。



交
一
港と

◎調査結果について

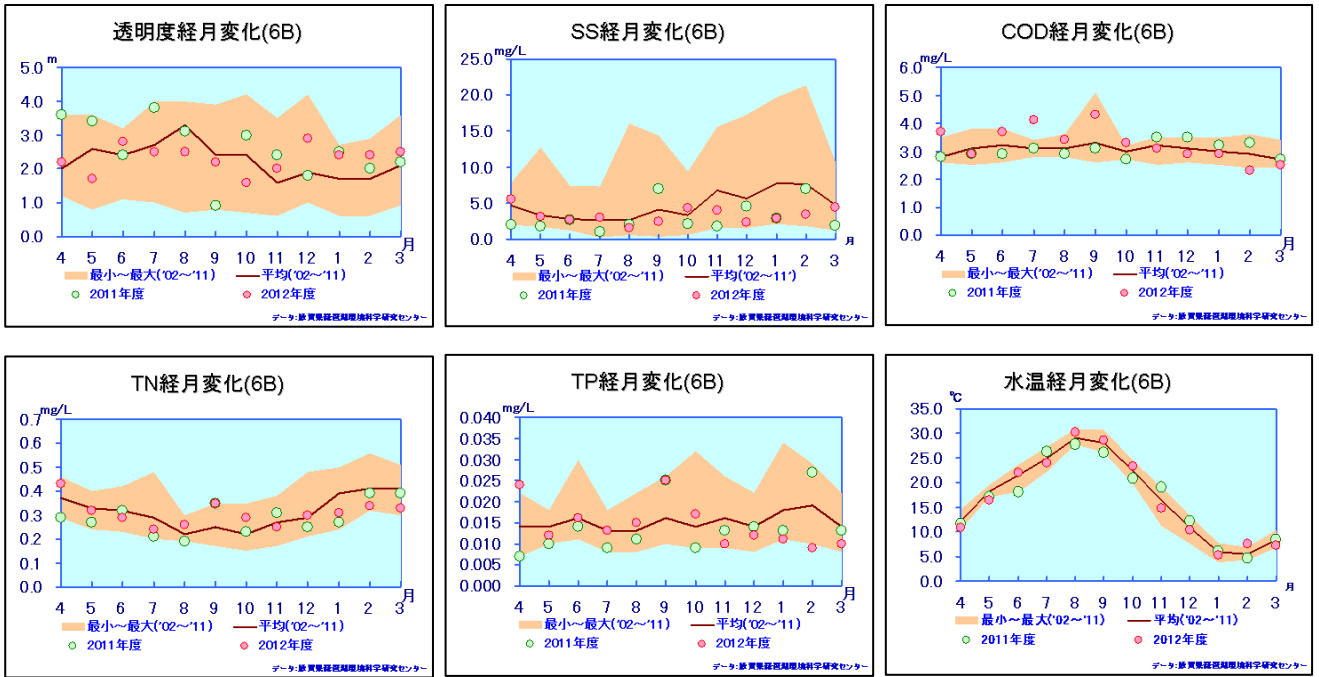
琵琶湖北湖の代表点として 17B、南湖の代表点として唐崎沖中央(6B)のそれぞれの経月変化からみる平成 24 年度第 4 四半期までの水質概況は次のとおりです。

○ 唐崎沖中央調査結果

透明度については、1 月から 3 月にかけて過年度(過去 10 年間)平均値より概ね高い値を示しました。透明度に影響を与える浮遊物質(SS)の推移を見ると、1 月から 2 月は過年度より低く、3 月は過年度並の値を示しました。このことから 1 月から 2 月にかけての SS の低下が透明度の上昇をもたらしたものと考えられます。

有機物汚濁の指標である化学的酸素要求量(COD)については、1 月が過年度並の値を示しましたが、2 月は過年度より低い値となりました。2 月の値は 2.3mg/L となり、過年度の最低値(2.4mg/L)より低くなりました。3 月は過年度並の値となりました。富栄養化項目である全窒素(TN)は、1 月から 3 月にかけて過年度より低い値となりました。全りん(TP)は、1 月から 3 月にかけて過年度より低い値となりました。特に 2 月は 0.009mg/L と過年度の最低値(0.010mg/L)より低くなりました。

水温は、1 月は平均値並の値でしたが、2 月は過年度よりも高い値となりました。2 月の値は 7.6℃となり、過年度最高値(6.9℃)より高い値となりました。3 月は過年度並の値でした。



○今津沖中央調査結果

透明度については、1月は過年度平均値よりも高く、2月は過年度平均値よりも低く、3月は再び高くなりました。特に3月は11.9mとなり、過年度の最高値(11.8m)よりも高くなりました。

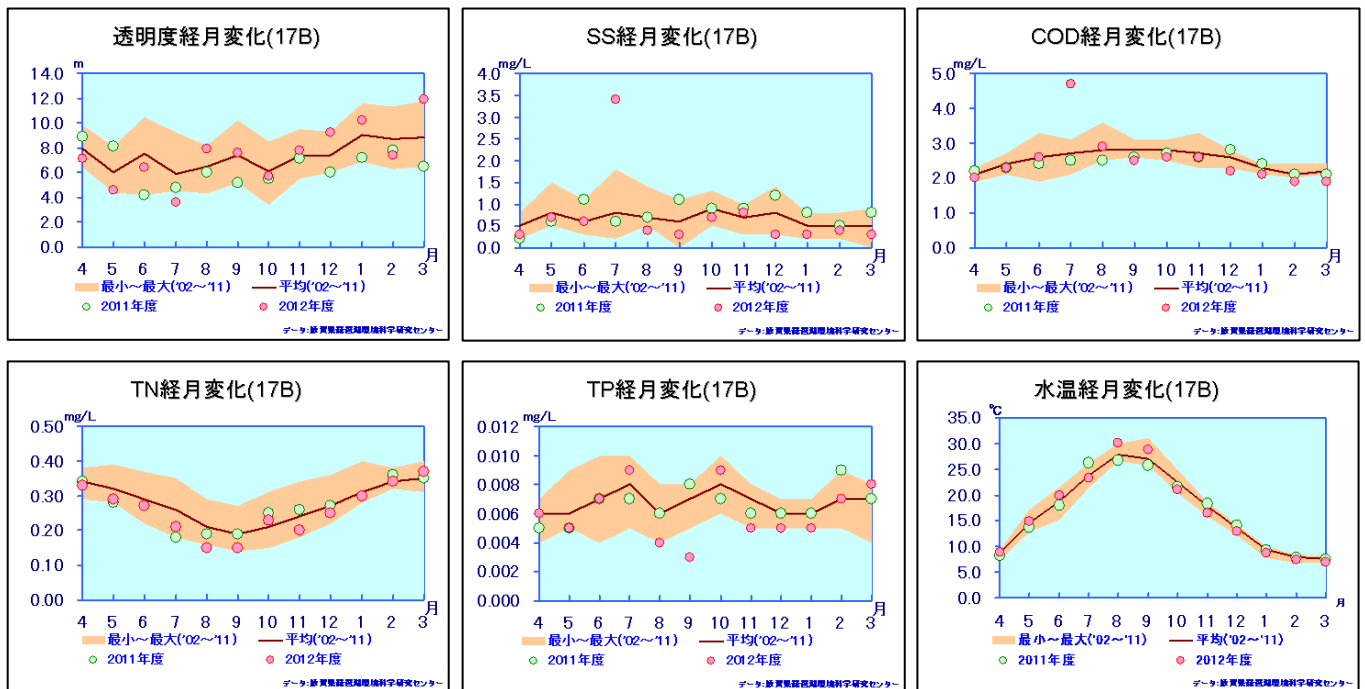
浮遊物質(SS)は、1、3月が過年度平均値より低く、2月は過年度並となりました。

CODについては1月から3月にかけて過年度平均値よりも低い値を示しました。1月は2.1mg/Lとなり過年度最低値と同じ値となりました。2月、3月は1.9mg/Lとなり、過年度最低値(2月2.0mg/L、3月2.1mg/L)よりも低くなりました。

全窒素は、1月は過年度平均値よりもやや低く、2月は過年度平均値並の値となり、3月は過年度平均値よりもやや高い値でした。

また、全りんは、1月は過年度平均値よりやや低く、2月は過年度平均値並の値となり、3月は過年度平均値よりもやや高い値でした。

水温は、1月、2月は過年度平均値並の値であり、3月は過年度最低値7.0°Cと同じ値となりました。



《問い合わせ先》

〒520-0022 大津市柳が崎 5-34

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター

環境監視部門 公共用水域担当

TEL:077-526-4255 FAX:077-526-4803

E-mail: dc51400@pref.shiga.lg.jp